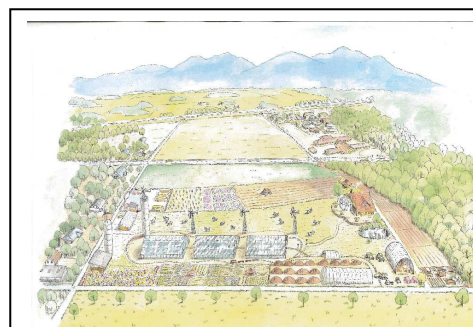


### 平成 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	点と線をつなぐプロジェクト		
事業主体 (連絡先)	点と線をつなぐプロジェクト 長野県諏訪郡富士見町富士見10921-2 電話 0266-62-4806		
事業区分	環境保全及び景観形成に関する事業		
事業タイプ	産業振興、 特色ある観光地づくり、 商業の振興		
総事業費	415,504 円 (うち支援金: 303,000 円)		

#### 事業内容

- 1、神代棚田プロジェクト；荒廃した棚田の修復・地域へ移住した家族を受け入れ地域の交流で活性化。
- 2、八ヶ岳自然生活学校；湛水水田と周辺の農地や土手を含めた一帯で、生物多様性に関わる生き物調査・観察会を長年継続中。
- 3、みのり建設環境部；食品残さ・牧場から出る牛糞・諏訪湖のヒシ等を堆肥化する「生ゴミ食いしん坊」と言う基材（微生物）を使った循環型農業と微生物の働きを五感で体験できる学習コースの受け入れ。
- 4、点と線をつなぐプロジェクトとして東京農工大学中島准教授、諏訪東京理科大学平尾准教授や学生の調査研修地としたフィールドワークの受け入れ。その成果を報告会や講演で情報を共有。



【富士見の夢景観】

自然と景観、生物多様性の里では富士見の魅力が盛り沢山

#### 【目標・ねらい】

- ① 人と人のつながり
- ② 農村地域課題の情報共有
- ③ 生物多様性の環境
- ④ 微生物への理解と拡大

#### 事業効果

- 1では、棚田を改修してコメ作りを希望する新規の家族から申し込みがあり、2枚の棚田が増えた。
- 2では、生き物調査や観察会を継続して来ているので、生物多様性を研究しているオーストラリア人や地域外からの研究者の参加も増えている。2回実施、延べ38人
- 3では、児童や町民、外国からはヒシのたい肥化の実態を調査・研修があった。参加者延べ66名
- 4では、10年前から東京農工大学大学院 中島准教授の農村地域計画学研究室に関わる学生の調査研究の情報共有。今回は諏訪東京理科大学の平尾准教授による「諏訪地域人口や経済などの問題について講演があり、延べ参加者45名

※自己評価 【 B 】

#### 【理由】

小さな活動の点を線でつなぎ、面に拡大するための今は中継点。

#### 今後の取り組み

- ◆神代棚田プロジェクトの取り組みで、新規就農家族（楽しみながら農業に関わりたい希望者）を受け入れ、小さな集落に活気を取り戻す取り組み。
- ◆生き物調査・観察会は富士見町が生物多様性に恵まれている地域であることを発信して、取り組みを継続して行く。
- ◆「生ゴミ食いしん坊」（たい肥化の基材）で、循環型農業を富士見から仕組みを発信する。微生物を学ぶエコプログラム体験の受け入れは、子供が五感で感じた感動を、家庭へ持ち帰り大人へ微生物について伝えられる草の根運動を推進。看板や巡回コースは、来年度以降にも活用。
- ◆点と線をつなぐプロジェクトでは、農村の高齢化や後継者不足の課題を東京農工大学や諏訪東京理科大学の准教授や学生とも連携し、フィールドワークとして活動を受け入れる。 地域住民と情報を共有できる支援や対話の機会は、地域住民が主体になって今後も取り組む。